

平成 18 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事録

日時：平成 18 年 5 月 12 日（金）13：10～17：00

場所：土木学会 AB 会議室（2F）

出席者：丸山委員長，小柳顧問，伊東，呉，上田，魚本，氏，梅原（代理：上原），大津，岡澤（代理：植田），金津，河野，坂井，堺，佐藤勉，佐藤良一，鈴木，十河，堤，手塚，二羽，信田，橋本，福手，松岡，宮川，睦好（代理：牧），六郷，渡辺の各委員，横田幹事長，下村，中村，服部，の各幹事，松沼事務局職員

配布資料：

- 1-0 平成 18 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事次第
- 1-1 コンクリート標準示方書と私 雑感
- 1-2 平成 17 年度 コンクリート委員会 第 6 回常任委員会 議事録（案）
- 1-3-1 平成 17 年度 コンクリート委員会 一般会計・特別会計 会計状況（3/31 確定）
- 1-3-2 平成 18 年度 コンクリート委員会 一般会計・特別会計 予算案（5/12）
- 1-4 平成 18 年度 全国大会 研究討論会テーマ（案）
- 1-5-1 新規受託：橋本道路垂井高架橋の損傷に関する学術的調査研究
- 1-5-2 新規受託：フライアッシュの有効利用促進に関する調査研究
- 1-5-3 新規受託：フライアッシュを利用するコンクリートの耐久性に関する調査研究
- 1-6-1 フライアッシュのコンクリートへの利用促進に関する調査研究について
- 1-6-2 " 研究実施の基本スタンス
- 1-7 213 設計認証・保証システム研究小委員会の設立について
- 1-8 337 ConMat '08 実行小委員会の設立について
- 1-9-1 コンクリート委員会 名簿
- 1-9-2 コンクリート標準示方書改訂小委員会 委員構成
- 1-9-3 " 設計部会 委員構成
- 1-9-4 " 施工部会 委員構成
- 1-9-5 " ダム部会 委員構成
- 1-9-6 規準関連小委員会 委員構成
- 1-9-7 コンクリート標準示方書改訂小委員会 委員構成 一覧
- 1-9-8 ローマコンクリート調査小委員会 委員構成
- 1-9-9 鉄筋継手指針改訂小委員会 委員構成
- 1-10-1 328 コンクリート構造物のヘルスマニタリング研究小委員会 委員構成
- 1-10-2 329 耐震設計研究小委員会 委員構成
- 1-10-3 333 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会 委員構成
- 1-10-4 335 構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会 委員構成
- 1-11 「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム 開催案内

議事：

1．委員長挨拶

丸山委員長より委員会開催にあたり挨拶が行われた。

2．小柳顧問の特別講話

小柳顧問から、資料 1-1 を用いて、「コンクリート標準示方書と私 雑感」というテーマで、コンクリート標準示方書の経緯について、49 年制定版、61 年改定（限界状態設計法）に至る経緯、維持管理委員会の活動について紹介された後、示方書の改定に対する姿勢のあり方などについて講話がなされた。コスト縮減の風潮の中、品質確保に対しコンクリート委員会の果たすべき役割は大きいとの指摘があった。講話の後、質疑応答が行われた。

3．前回議事録（案）の確認

資料 1-2 の平成 17 年度 第 6 回常任委員会 議事録（案）が下村幹事より説明された。4.審議事項(5)で「英訳基準」を「英訳指針・基準」に訂正し承認された。また、丸山委員長より以下の追加があった。

- ・ ベトナムジョイントセミナーに関連し、吉田賞小委員会から助成されることになった。
- ・ 重点研究課題への申請が採択された。
- ・ 垂井高架橋関連の骨材についての委員会設置については、難しい面もあり、情勢を見ながら幹事団で検討している。

4．審議事項

(1) コンクリート委員会 平成 17 年度決算および平成 18 年度予算案

横田幹事長より、資料 1-3-1 および資料 1-3-2 を用いて、平成 17 年度決算および平成 18 年度予算案の説明があった。

- ・ 決算：予備費を使う状況（震災等の緊急対応）にならず、残額があるので、仕掛金への充当とする。
- ・ 予算案：収入では、常置委員会に配分される予算（調査研究費）が縮小されている。また、見込まれる受託研究があるが 0 円としている。支出では、取りまとめ時期のため示方書小委員会に重点配当している。

これに対し、舗装委員会へ仕掛金は配分されているか、確認しておくとともに、予算書にメモ書きなど記載しておく必要があるとの指摘があり、150 万円の配分があるが、再確認することとした。

以上により、これを承認した。

(2) 平成 18 年度 全国大会 研究討論会テーマ

横田幹事長より、資料 1-4 を用いて平成 18 年度 全国大会 研究討論会テーマ(案)の説明があった。

- ・ 幹事団でテーマを定め、学会に提出済み。座長および話題提供者は未定。
- ・ 題目・内容については、校正中には修正できる。人選については、事実上、当日まで修正可能。

これに対し、以下の審議があった。

- ・ 重点研究課題のテーマと関連している。委員会成果に反映できるのではないかとの意図もある。
- ・ 「不良」な構造物のイメージを明確にする必要がある。設計不良（計算間違い）や施工不良と意図的

に騙したケースとは異なる。「不良」「不適切」程度に緩めてはどうか。

- ・ 時節柄、テーマとしては必要なものであり、適切と考えられる。なお、以前に品質保証の委員会があったので、その成果も生かすとよい。
- ・ 土木に対する逆風にならないかどうか、注意しておく必要がある。技術的で明るい方向も考えられる。
- ・ 題目の「照査・保証」は次元が異なる。内容に示されるように「設計・照査およびその結果の認証・保証」に沿った題目としてはどうか。

また、座長および話題提供者が以下のとおり提案された。

座長：魚本（示方書小委員会委員長）：決定

話題提供者（案）：石橋（JR東）、佐伯（コンサル）、玉越（国総研）、渡辺（清水）

以上により、幹事団で調整し進めることとした。

(3) 新規受託について

丸山委員長より、以下の新規受託に付いての説明があった。

- ・ 資料 1-5-1 橋本道路垂井高架橋の損傷に関する学術的調査研究：理事会で承認済み。昨年度から継続、引き続き丸山委員長が委員長、二羽幹事長となる。1年間を予定している。
- ・ 資料 1-5-2 フライアッシュの有効利用促進に関する調査研究および資料 1-5-3 フライアッシュを利用するコンクリートの耐久性に関する調査研究：理事会で承認済み。これらは受託先組織が異なるため分かれているが、事実上は一括して受託する。3年間を予定している。

これらの受託を承認した。

(4) フライアッシュ有効活用研究小委員会の新設について

金津委員（委託側）より、資料 1-6-1 および資料 1-6-2 を用いて、資料 1-5-2 および資料 1-5-3 の受託研究の内容についての説明があった。平成 18 年の単年度で 2,400 万円。FA の有効利用を促進したいと考えており、最終的（3年後）には、電力業界が継続できるような研究・検討を期待している。既に、若手の大学研究者を中心に、担当を打診している。

一方、丸山委員長より、前川委員に委員長を、坂井委員に幹事長を依頼し、了解を得ていること、委員は委員長・幹事長に選定を依頼しており、次回に報告してもらうことが提案された。

審議の結果、小委員会の新設および委員長・幹事長の選任を承認した。

(5) 213 設計認証・保証システム研究小委員会の設立について

横田幹事長より、資料 1-7 を用いて、設計認証・保証システム研究小委員会の設立についての説明があった。

- ・ 土木学会 平成 18 年度 重点研究課題（研究助成金）への申請の結果、良い評価で認められた。これに対し、2 種委員会を立ち上げて活動することで対応したい。1 年間を予定している。
 - ・ 小委員会は常任委員に公開とし、話題提供を基に議論を行い、研究報告を取りまとめる形式を予定している。平成 18 年度 全国大会 研究討論会の議論も報告書の参考としたい。
 - ・ ステアリングメンバーを構成した上で、常任委員会全員に開催案内を送るので、ぜひ出席してほしい。
- 審議の結果、小委員会の新設を承認した。

(6) 337 ConMat '08 実行小委員会の設立について

魚本委員より、資料 1-8 を用いて、ConMat '08 実行小委員会の設立についての説明があった。

- ・ 日本で 2008 年に開催することが決定している。2008 年 10 月～11 月付近での開催を検討している。
- ・ コンクリートというテーマからは、JCI 内で委員会を立ち上げる考えもあったが、建設におけるすべての材料を対象とする国際会議であるという性質から、土木学会が主催、JCI・PC 技術協会が後援としている。
- ・ 前回開催でも、3 種委員会で実行委員会を構成した。本来は 3 種委員会は公募するが、委員会の性質上、委員構成も計画しており、依頼があった場合はぜひ協力してほしい。
- ・ コンクリート委員会からも予算の負担が見込まれる。

審議の結果、小委員会の新設を承認した。

(7) 1 種・2 種小委員会委員追加・変更

丸山委員長より、資料 1-9-1～資料 1-9-9 を用いて 1 種、2 種委員会の委員の追加・変更が提案され、これらを承認した。

(8) その他

なし。

5. 報告事項

(1) 設計コードに関するワークショップ（台湾）への協力依頼等

堺委員より、以下の報告があった。

1. アジアでの共通設計コード策定を検討しているワークショップについて、どのように進めるかを模索するため現状は交流のためとの意味合いもあるが協力をお願いしたい。上田委員に参加を依頼している。
2. 国際関連小委員会関連では、JSCE-VIFCEA 東京ワークショップに対し吉田賞小委員会から 60 万円が助成されることになった。9/14～15、土木学会での開催を計画している。詳細はコンクリート委員会 HP に掲載し周知する予定。一方、韓国と協定を締結したことを受けて、全国大会の時などで、どのような内容でイベントを開催するかを検討中。また、JICA プロジェクトを立ち上げられないか検討を始めている。

(2) 日本学術会議材料工学委員会（材料工学連合講演会）からの依頼

服部幹事より、平成 18 年度の材料工学連合講演会が 12/13（水）、14（木）に京都で開催予定であり、従前では、土木学会としてはこの 2 日間のうちの半日程度でオーガナイズドセッションを開催していること、服部幹事と内田先生（岐阜大学）が土木学会の窓口となったことが報告された。

また、丸山委員長より、3 種の委員会とのコラボレーションなどのかたちで、コンクリート委員会としてもバックアップをしたいと考えている旨が補足された。

(3) HPFRCC 小委員会のスケジュール

六郷委員より、9 月に設立した HPFRCC 小委員会の報告書について、今年度末（H19.3）刊行と予定を変更する旨報告があった。また、英訳も進めている。

(4) 3種委員会委員の追加・交代

下村幹事より、資料 1-10-1～1-10-4 を用いて 3 種委員会の委員の追加・変更が報告された。

(5) 講習会等開催計画および実施報告【別紙資料】

下村幹事より、資料 1-11 に基づき、「PC 建造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム（平成 18 年 5 月 16 日東京）が紹介された。

橋本委員より、中部支部で開催される吹付けコンクリート指針（案）に関する講習会（5/23 於名古屋大学）が紹介された。

(6) その他

呉委員より、328 委員会において、ヘルスマonitoringに関するアンケートを常任委員会に電子メールで回送したいと考えており、回答方お願いしたいとの依頼があった。

6. その他

なし。

次回：2006 年 7 月 10 日（月）於新潟（JCI 年次大会前日）

14:00～常任委員会

17:00～長瀧顧問の講話

以上